

# 情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

## JR 東労組「緑の風 FAX 版 No44」

# 弾劾!

JR東労組本部は、10月23日に「緑の風 FAX 版 No44」を発行しました。その見出しでは、「組織破壊策動を許さない!!」と大々的に喧伝しています。さらに、「JR東労組脱退者が労働組合の必要性を訴え、高崎と一緒にするとし加入を促す動きが発覚している」と展開されています。

みなさんよく考えてみてください。JR東労組を脱退した者が労働組合の必要性を訴えて加入を呼びかけることは、極めて普通で当たり前の行為ではないでしょうか!

緑の風 FAX版	NO. 44 2018年10月23日 JR東労組情宣部
<b>組織破壊策動を許さない!!</b>	
<small>JR東労組が組織破壊と規定した「JRひがし労」なる組織が、11月23日に臨時大会の開催を予定しているようです。その動きに連動するように、「JR東労組脱退者が労働組合の必要性」を訴え、高崎と一緒にするとし「JRひがし労」へ加入を促す動きが職場で発覚しています。</small>	
<b>JRひがし労の協約は高崎支社のみと締結 高崎支社以外の組合員は適用になりません!!</b>	
<small>ある地本管内では、協約適用外にも関わらず「JR東労組では組合員を守れない」との悪宣伝が行われています。ウソ・ごまかしに決して騙されないように、「JR東労組組合員や脱退せざるを得なかった仲間に対し」活動強化を訴えていきましょう!!</small>	

## 本社との協約協定の締結は、

# まもなくです!

JR東労働組合（JRひがし労）は、10月15日に本社の代理として高崎支社との間で「労使間の取扱いに関する協約」を締結しました。JR東労組が主張している「高崎支社以外の組合員は適用なりません」との見解を否定するつもりはありません。しかし、JR東労組の主張は、一部分のみを切り取っているに過ぎず内容が不足しているため補足します。

10月15日の協約協定締結後、JR東労組を脱退した他の地方の仲間が「健全な労使関係の構築を目指し、組合員の負託に応える良識ある労働組合として高崎の仲間と共にたたかう」と決意を新たに、JRひがし労に加入していただきました。そして、現在においては高崎支社との締結を本社との締結に切り替える手続きをしています。そのため、まもなく本社との締結を交わすため、そしたら東労組が喧伝しているような心配はありませんので、安心してください!

最後に、東労組は「ウソ・ごまかしに決して騙されないように」と悪宣伝をしていますが、他の組織の批判をする前に、今もなお激化している内部の組織混乱の収束に力を注ぐ方が先決だと思います。東労組指導部が招いた一連の脱退騒動と今の組織現実を主体的に反省しなければ、再生は不可能といえるでしょう!!

## あらゆる妨害に惑わされず、

## 組合員のためのJRひがし労に結集しよう!